

会 議 等 経 過 報 告 書

1 会 議 名	令和元年度大船渡市立公民館運営審議会
2 日 時	令和元年6月4日（火）午後1時30分～午後2時20分
3 場 所	大船渡市交流館・カメラアホール 多目的ホールA
4 出 席 者	委員：三浦昌弘委員、鈴木晴紀委員、志田倫代委員、川村俊彦委員、今野晋司委員、佐藤善公委員、舟野ひとみ委員、佐々木晋委員、平田睦子委員、朴澤和子委員、村上泰子委員、志田真理子委員 事務局：小松教育長、金野教育次長、熊谷生涯学習課長、白石中央公民館長、吉田館長補佐、木川田係長
会 議 等 の 内 容	
<p>1 開 会（進行：白石館長）</p> <p>2 あいさつ</p> <p>・教育長 （委員自己紹介） （事務局職員の紹介）金野教育次長</p> <p>3 会長・副会長の選任（進行：白石館長）</p> <p>会長と副会長の選任方法について委員に諮ったところ、事務局案があれば出してほしいとの声があったことから、事務局案として、会長に三浦昌弘委員、副会長に鈴木晴紀委員を提案し、全会一致で承認された。</p> <p>・三浦公運審会長 あいさつ</p> <p>4 報告</p> <p style="text-align: center;">報告第1号 平成30年度公民館事業の実施状況について（吉田館長補佐説明）</p> <p>■（朴澤委員）</p> <p>親子サバイバル教室では、火おこしのほかにどのようなことをしたのか。 （木川田係長）</p> <p>テントの立て方やロープの結び方を学んだ。</p> <p>（今野委員）</p> <p>ふるさと・おおふなとお話大賞の入選作品は、とてもすばらしいものがある。一方応募作品数が減少しているとのことだが、応募作品数を増やす手立てを考えているのか。 （吉田補佐）</p> <p>これまでの周知方法としては、市内小中学校、高校へポスター掲示やチラシを配布、公共機関等にもポスターを掲示している。また、市広報、ホームページ及び新聞への作品募集記事掲載を行なっている。その他に、FMねまらいんの放送で周知している。劇的に応募数を増やす方法は考えていないが、これまで周知していなかった気仙管内の高田高校と住田高校にもポスターの掲示やチラシ（全生徒分）配布をおこなうこと</p>	

にしている。

(三浦会長)

家庭教育学級の課題として、学校担当者との連絡調整があるとのことだが、具体的にどのようなことなのか。

(木川田係長)

家庭教育学級は、補助金をもらって実施している。そのため、学校側には4月早々に開設要項を送付し、その後、当館の家庭教育学級担当者と地区担当者が各学校又は小・中合同開催の地区は事務局校を訪問し、学校側の担当者に実施方法の説明をしている。しかし、当館で説明に伺った時点で、学校側では既に推奨テーマ以外の内容で計画を決めてしまっている場合がある。また、対象は保護者等としているが、学校行事と抱き合わせで、生徒を対象としている場合があるというような状況である。

4 協議

協議第1号 令和元年度公民館の事業計画について（吉田館長補佐説明）

■ **(佐々木委員)**

ふるさと・おおふなとお話大賞の入賞作品を東海新報に掲載されたものを読んだことがあるが、1回だけ掲載しているのか。

(木川田係長)

ふるさと・おおふなとお話大賞は、毎年1月頃に入賞作品の表彰式を実施し、入賞した作品を東海新報に掲載してもらっているが、紙面の都合である程度間隔をおいて掲載されるので、1回だけ掲載していると認識されたのではないかと。

また、FMねまらいんでも入賞作品の朗読をしてもらっている。さらに、受賞者のインタビューも放送してもらっている。

(今野委員)

私は、市政モニターに委嘱されており、市政に関する質問に回答する職務がある。その質問項目がかなり多いが、その質問から市がどんなビジョンを掲げようとしているか意図がわからない。

そこで、これは私の意見であるが、中央公民館の開催事業で学んだことを生かす機会を提供したらよいと思う。学習機会の提供により、最終的に何につなげていくのかを工夫してもらいたい。

また、ふるさと・おおふなとお話大賞の入賞作品をFMねまらいんで放送しているとのことだが、1人の朗読だけでなく、可能ならば複数の声優でやってもらったら良いと思う。

(朴澤委員)

私は乳幼児学級の託児ボランティアしているが、一昨年度は12回、昨年度は10回、今年度は8回と回数が年々減っている理由を教えてほしい。

(木川田係長)

まず、1つ目の理由として中央公民館では、昨年度から2つの新規事業を実施しており、また、市職員の働き方改革も進められており、館全体の業務量の関係から回数

の見直しを図った。

2つ目は、市内の他団体等でも子育てに関する講座が行なわれていることである。

3つ目は、昨年度まで一般公開を行なっていたが、参加者数が少なく、実施の効果が見られないこと。元々、一般公開は、土・日曜日に開催することで、日頃、講座に参加できないお父さん方にも子育てに関心を持ってもらう機会を提供することと一般の方への講座の周知が目的で実施したが、お父さん方の参加率の向上には結びつかなかった。また、一般公開の場合は、学級生自体の参加率が下がってしまうことなどによるものである。

(村上委員)

「学習活動の促進」の計画内容に、「魅力ある学習メニュー作り」とあるが、このことに関して、私が経験しことを話してみたい。

私の娘が盛岡市に住んでおり、娘に誘われて昨年7月22日に開催された宮古市の「公民館まつり」を見てきた。そのまつりは地区公民館で学んだことの発表機会になっており、コーラスの発表や公民館の紹介もあった。まつりのスタッフも生き活きと活動しており、見学者もすごく楽しい思いをした。

当市でも、「地域再生支援文化活動事業」を実施しているので、地区公民館の活動として、地区内の人たちが公民館を気軽に訪れ、楽しんでもらえるようなまつりの実施が市内全体に広がっていったら良いと思った。

(吉田補佐)

当市の地区公民館では、文化祭を開催して、地区住民の作品の発表の場を設けている。

また、地区公民館の事業ではないが、働く婦人の家まつりが開催されており、そこでは、展示だけでなく、舞台発表もあり、市民が気軽に参加できるような行事も行われている。

(三浦会長)

赤崎地区では、復興途上であり、文化祭は行なわれていないが、敬老会は行なわれている。

(白石館長)

質問の回答ではないが、ここで委員の皆さんに地区公民館・地域公民館役員等研修会の開催についてお知らせしたい。今回は、7月6日(土)午後1時30分からシーパル大船渡において、一関市の市民センターの小野寺氏を講師にお願いし、まちづくりに係る講演をいただくことにしているので、是非参加いただきたい。

詳細は、後日文書でお知らせする。

最後に、三浦会長が事業計画の承認について、出席委員に諮り、承認された。

5 その他

事務局からは提案事項はない旨報告した。各委員からも質問・意見はなかった。

6 閉 会

